

病 防 第 4 6 号

令和3年9月16日

各関係機関の長 様
(農政担当)

岐阜県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について (送付)

このことについて、下記のとおり発表したので、指導上の参考にしてください。

記

令和3年度病害虫発生予察注意報第7号

(カキ 炭疽病)

令和3年度病害虫発生予察注意報第7号

令和3年9月16日

岐 阜 県

作 物 名 カキ

病害虫名 カキ炭疽病

1 発生地域 県下全域

2 発生時期 9月中旬以降

3 発生程度 多い

4 予報の根拠

- (1) 岐阜地域のカキ定点ほ場における調査では9月上旬の炭疽病の発病果率は2.5%と、平年の0.6%と比較して約4.2倍高かった。
- (2) 9月上旬に行った定点以外の巡回調査(4地点)において、発病果率は6.0~53.3%と高く、今まで本病の発生が見られなかった山際以外の平坦地においても発病が確認されている。
- (3) 8月に雨天が続き、本病の発生及び拡大に好適な条件が長期間続いた。名古屋地方気象台の1か月予報(9月9日発表)では、降水量は平年並と予想されているが、台風等の強風を伴う雨があった場合には、発生が増加する恐れがある。

5 防除上の注意事項

- (1) ほ場内をよく観察して、発病枝や発病果は見つけ次第除去し、ほ場外に持ち出す。
- (2) 発生ほ場では防除を行い、特に台風が接近する場合は事前に防除を行う。できなかった場合は、台風通過後に速やかに防除を行う。
- (3) 耐性菌の増加を抑制するため、同一薬剤（特にQoI剤、及びベンゾイミダゾール系）の連用を避ける。農薬は、最新の登録情報（<https://pesticide.maff.go.jp/> 農薬登録情報提供システム）を参照し、収穫前日数に注意しながら適正に使用する。



図1 新梢（枝）の病斑



図2 果実の病斑